

---

# 岐阜市立岐阜商業高等学校

校長 林 田 仁

学校住所 岐阜市鏡島南2丁目7番1号 TEL 058-251-0165

---

1 会議の名称 学校評議員会 (第1回)

2 会議の構成 委員 戸野部 正 八 鏡島自治会連合会会長  
竹 本 康 史 岐阜聖徳学園大学教授  
川 田 博 子 元PTA会長  
山 内 義 孝 (株)サムソンフィクセル代表取締役

学校側 林 田 仁 校長  
種 田 実津男 事務長  
小野木 仁 孝 教頭  
林 美知尾 教務主任  
廣 江 修 生徒指導主事  
森 公 彦 進路指導主事  
小 林 和 豊 商業科主任

3 会議の目的 地域社会との連携を一層深め、効果的で開かれた特色ある学校運営を推進する。

4 会議の開催 平成25年6月27日(木) 13時30分～14時30分  
岐阜市立岐阜商業高等学校 校長室  
委員4名と学校側7名が出席

5 会議の概要

(1) 挨拶 (校長)

7年前に本校で保健体育の教諭として12年間勤務し、学年主任や生徒指導部長として男女共学への移行や現在生徒が着ている制服を検討した。また、縁があり校長として4月に赴任した。

学校評議員会は、学校改革を推進するというのが目的なので、今日のこの会で話されたことを糧として本校の学校改革を行っていく。

(2) 学校評議員の委嘱

ア 校長より4名の学校評議員を委嘱した。

### (3) 日程説明 (教頭)

- ア 施設見学 13時30分～13時40分  
イ 学校側の説明、意見交換 13時40分～14時30分

### (4) 施設見学

- ア 耐震補強工事の完成状況と駐輪場の新設予定地を見学した。

### (5) 学校説明 (学校側)

#### <校長より>

- ・着任の挨拶で「市岐商ブランド」の確立、ひとりひとりの自覚と実践について話をした。「市岐商ブランド」とは、清楚な身だしなみで爽やかな挨拶ができ、素直で仕事が安心して任せられるように育成した生徒である。
- ・今年、毎朝の校旗掲揚で強化部の生徒が整列し、校歌を歌うように改革をした。女子を活性化させたい。例えば、応援団に女子が加入したり、ブラスバンド部にも多くの女子生徒が入部したり、空手の女子がインターハイの出場を決めるなどがあった。また、全経上級の合格や日商1級プロジェクトの参加などがある。
- ・大学進学希望者への対応は、英語力を強化する必要性を感じる。

#### <事務長より>

- ・2年掛かりの耐震補強工事は終了した。平成27年の夏までにはエアコンが整備される予定である。

#### ※各分掌で取り組んでいること

##### <教務部より>

- ・授業における学力の定着のために、授業評価を実施していく。今年度から新しい入試制度での生徒であるため、実態を掴みつつ、生徒が授業で理解できるように授業改善を行っていく。
- ・進路実現に向けて、3年生の選択科目の改編をしている。最近の推薦入試にも英語が必要になってきていることを受けて、英語が勉強できるように考えている。

##### <生徒指導部より>

- ・市岐商ブランドの確立に向けて、いろいろなことを自ら主体的に考えさせていく。具体的には、昨年同様にMSリーダーズを利用して、生徒自ら駐輪場整頓や挨拶などをさせ、語先後礼を含めたビジネスマナーを身につけさせている。
- ・身だしなみは月に1回指導し、毎朝校門指導も実施している。下校時に服装が乱れてしまうのが残念である。
- ・ラインやツイッターなどの被害はないが、「生徒指導部だより」を発行して注意を呼びかけている。

<進路指導部より>

- ・体験的な学習では、今年度も市岐商デパートによる体験学習で実践的な内容をしっかりと身につけさせたいと思う。
- ・外部の教育力の活用では、ぎふチャンのアナウンサーによる会話力の向上講座や進路ガイダンスなどにより、レベルアップを図っていく。

<商業教育より>

- ・社会に貢献していくためにどんな人間が必要かを考えて取り組んでいる。
- ・地域との関係では、文化系の部活動による市民講座を実施して、より市民との関係を深めていく。

(6) 意見交換

- 意見 1 ・鏡島校区外でいくつかの問題が見られる。特に、西岐阜駅周辺で不審者などの問題も起きているため、連携を図っていく必要がある。
- 意見 2 ・今までは「意識」を聞いたが、今年度は「行動力」を伴うような方向に進んでいるようだ。「意識」をもち、「行動」が伴ってこそ、市岐商ブランドの確立に繋がる。
- 意見 3 ・市岐商デパート（昨年度ネイルアートで出店）や講演会（今年度1・2年生対象の進路ガイダンスの講師）などで生徒との関わりが深められた。  
・就職先の開拓や求人数の増加に向けて力を注いでいきたい。
- 意見 4 ・元PTA役員として8年間お世話になった学校でもあるので、市岐商の生徒のことが気になる。母親の目、地域の主婦の目で生徒を見ているが、スカート丈の短い、シャツの第2ボタンを掛けていない生徒を目にすることがある。  
・部活の帰りの遅い生徒はしっかりしているが、朝見た生徒は、身だしなみがあまり良くなかった。  
・ハンドボール部のインターハイの県予選の決勝戦の試合は惜しかった。練習も大切だが、日頃の部室の管理、身体のケアなど日頃の行いや精神的な部分が大事なのではと思う。
- 学校側 ・野球部の生徒の善行（迷惑行為の容疑者逮捕の協力）があり、警察署より表彰を受けた。  
・市岐商ブランドの確立には、1人1人の自覚と行動が大切である。  
・今年は今のところ問題行動はない。余り目立たない生徒が問題行動を起こす傾向にある。以前より派手で目立つ格好をする者がいなくなった。  
・「LINE」等の情報モラルの問題は、NTTドコモの方を呼んで生徒向けの講習等を行った。